

目標達成計画

作成日：平成 21 年 12 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	地域の協力を得て、夜間人手の少ない時間帯を想定し、避難場所への誘導等、利用者が迅速に避難できるよう訓練を実施する。	夜間は当直一人なので、日中の人数の動きは出来ないのので夜間を重視したい。また、地域の連携を密にし、協力を仰いでいく。	夜間想定避難訓練を12月24日に実施する。	2ヶ月
2	2	地域の自治会に加入し、自治会活動や行事へ積極的に参加し、交流を深める事により、事業所と地域の人々とのよりよい関係の育みに取り組む。	事業所が市街地から離れた場所にある為、地域の人々との日常的な繋がりが少ないので、地域活動に力を入れていく。	現在、地域の自治会の活動が、はっきりしていなくて、来年の4月から正式に活動することなので、4月に向けて自治会の加入を進めていく。又、行事等にも積極的に交流を深めていきます。	6ヶ月
3	4	事業所や実情のケアサービスの取り組みなどを積極的に伝える機会を多く持ち、利用者の情報伝達以外にも助言や指導を仰ぐ等協力関係を密にし、サービスの向上に取り組む。	入居・退去連絡票提出の際、変更事項が発生した場合には、担当者へ入居者の状況を提出(報告)しているが、その他にも市町村からの情報をキャッチし、サービスの向上に努めます。	運営推進会議(2ヶ月に1回)で入居者の状況やケアサービスの取り組みを報告し、助言や指導を仰いでいる。その都度密な情報交換をとり、助言・指導を仰いで協力関係を密にする。	3ヶ月
4	15	献立作成の際、献立等について意見を聞き出し、出来るだけ意見を取り入れる。	利用書の嗜好は個人差がありますので、利用者が自分の好きなものを選び、意見を言える様な環境にし、食事を楽しみなものになるよう支援していく。	11月より、利用者の意見を取り入れ、食事の前には利用者にメニューの内容を紹介し、利用者1人の「いただきます」との合図にて全員で一緒に唱和して、楽しく食事が頂けるよう支援していく。	1ヶ月
5	20	持ち込みの少ない利用者には、本人、家族に相談し、その人らしい居宅づくりに取り組む。	家庭的な雰囲気を出すためには、普段家庭で使い慣れているタンスや置物などを持ち込んでもらう。本人が居心地よく過ごしてもらうために工夫していく。	一部の利用者は持ち込みをしているが、他の利用者も本人、家族と相談して持ち込みを進めていく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。